

公契約条例の制定求めて

小山市・下野市に要請行動

四月一七日、建交労働者も加盟する地域労連などによる「地域総行動」が行われました。県内市町村や行政機関に労働者・住民の立場から

諸問題について要請する重要な取り組みです。今回建交労では自治体の発注する事業で働く労働者の労働条件確保を求め、「公契約条例」の制定を重点に要請しました。



小山市への要請。要請団は右

小山市への要請に参加した県本部山内委員長は、「小山市の発注工事でも労働単価は上がっている。ところが末端の労働者の賃金は上がっていない。市民の貴重な税金が払われるべきところに払われてい

ない」と指摘し公契約条例の必要性を訴えました。市側は国の対応を注視したいと回答しました。

下野市では副市長が対応しました。山内委員長は「先月兵庫県三木市でも条例が成立し設計労務単価の九割の支払いを確保するように定められた。人口は下野市とかわらない自治体であり、ぜひ参考にしたい」と訴えました。副市長は下野市でも検討してきたことを明らかにし条例の重要性については一定の理解を示しました。



下野市では副市長(左)が対応

当日は栃木県、栃木労働局、栃木運輸支局への要請にも参加し現状を訴えました。

建交労も加盟する安足地域労連と足利・九条の会は共同で「九の日宣伝行動」を継続しています。

安倍政権は集团的自衛権の行使容認に向けて環境整備を進めていきます。集团的自衛権の行使とは、日本が他国からの攻撃を受けなくとも、米国の戦争に付き合おうということであり、憲法九条に違反することは明白です。



4月9日足利市内で行った「9の日宣伝行動」

解釈で憲法九条こわすな

遠藤さん無事退職 そして世界一周へ

備(株)と団体交渉を行い雇用の継続を確認、その後は短縮されずに働き続け無事定年を迎えることができました。

遠藤さんの話
「あのとき組合に相談しなければクビでした。今後は海外特派員としてがんばります」

小山駅構内で新幹線の清掃作業に従事していた遠藤義雄さん。今年二月定年退職してすばやく日本を脱出、船で世界一周に飛び出しました。中東のドバイ、アンマン、アカバとまわり、先日エーゲ海から事務所に絵葉書が届きました。

遠藤さんと組合との出会いは二〇〇七年にさかのぼります。



エーゲ海が似合う男遠藤さん。手にもつのはパスポート、ではなくなぜか放射線管理手帳。

浪放ラーメン

4軒目【くにや(大橋町)】



組合員篠原孝広さんの推薦店です。場所は西産業道路大橋町交差点を東に進行し秋山川の橋手前を右折したところ。去年8月に開店したお店は普通の民家を改装したつくり。玄関で靴を脱いで店内にラーメンの特徴は、いまやラーメン業界では常識になっている化学調味料を使用していないこと。この地域は佐野の旧市街地で昔は料亭街。このお店もその伝統が活きている。

「佐野ラーメン(六百円)」を注文しました。とろろ昆布が入っています。むかしよく食べた「とろろ昆布うどん」を思い出しました。ラーメンには初めてですが、やさしい味の無化調スープにマッチしています。

地元でない場所がわかりにくいのと駐車場が少ない



住所 佐野市大橋町 二二〇七
電話 〇二八三二二・〇〇五二
定休日 木曜日と第二水曜日

住所、電話番号等変更の場合は組合事務所までご連絡ください。

【第八五回栃木県メーデーに参加しよう】

日時 五月一日(木)午前九時三〇分開場、正午解散

場所 宇都宮市オリオンスクエア(オリオン通り内)

参加できる方は組合事務所まで